

(様式1－表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	112	豊田市立 竜神中 学校	代表	緒方 秀充
------	-----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	未来を創る一竜人になる			分野	i	その他
	サブテーマ 地域及び産官学と連携したキャリア教育の推進			(その他)は分野を右欄に記入	キャリア教育	
学校づくりの視点(ねらい)	(1) ねらい ○自分発見及び自分と社会の未来を創る学習を通して、自律・尊重・共創・貢献の基盤となる基礎的・汎用的な力を身に付ける。 <基礎的・汎用的な力> ①人間関係形成・社会形成能力 ②自己理解・自己管理能力 ③課題対応能力（課題発見・解決能力） ④キャリアプランニング能力 (2) 方策 ○全教科で探究のプロセスに基づく授業を実施する。 ○総合的な学習の時間を生かし、生き方や夢を考え、今できることを実行するキャリア教育を実施する。 ※2年生は総合的な学習の時間を活用し、社会と関わるために基盤であるマナー講座を実施する。学びを生かして、職場体験学習や地域でのボランティア活動、貢献活動での実践により、学びを常識へと深化させていく。 ※3年生では、模擬入社試験を実施する。進学の先にある自身の生き方を意識したプランをプレゼンする。専門家の指導・助言を受けるなかで、自身の夢の実現は社会貢献につながることを自覚し、目的意識と具体的な見通しをもったキャリアプランニング形成へとつなげる。 ※学校生活や対人関係の不安から、はあとラウンジを利用する生徒、利用の可能性が高い生徒の増加が懸念される。どの生徒にも自身の価値を認め、未来への希望をもってすすむ支援を充実させる一助として、心の相談員の配置について本事業予算からも希望する。 ○地域、企業、学術機関、官公庁などと連携を図り、目的意識と系統性のある探究的な学びを推進する。 (例) We Love とよた教育プログラムの活用、地域のニーズに応じたボランティア参加・企画支援					
活動内容・計画	1年生 4～7月 8～12月 1～3月	2年生 ・社会人マナー講座⑥ ・ドリームマップ作成⑦ ※未来地図を描く ・キャリアチャレンジデー⑪ ※地域人材との面談 ・入学説明会歓迎① ・職業レディネステスト③	3年生 ・模擬入社試験⑦ ※自分の長所 P R ※社会課題の自分事化 ・職場体験学習⑨ ・土橋公園トイレ装飾⑩ ・修学旅行⑨ ・地域連携面接練習⑫ ・自然教室立志式① ※生き方の決心 ・地域連携面接練習① ・卒業式③			
	(通年) ・地域と連携し、校外でのボランティア活動を推進する。 ・全教科で ①課題の設定 → ②情報の収集 → ③整理・分析 → ④まとめ・表現 を取り入れ、探究力を高める授業を進める。					
補助員配置	校内整備員 心の相談員					
実績・期待される効果	<基礎的・汎用的な能力の育成での視点> ①人間関係形成・社会形成能力 他者の個性を理解する力、コミュニケーション能力、チームワーク力の向上 ②自己理解・自己管理能力 自己の役割を理解し前向きに考える力、忍耐力、主体的な行動力 ③課題対応能力（課題発見・解決能力） 情報を主体的に選択する力、本質を理解し課題を発見する力、計画を立案し実行する力 ④キャリアプランニング能力 学ぶこと・働くことの意義を理解し将来を設計する力、自分を向上させるためのスキルを選択し行動する力					
検証方法	・ポートフォリオ化した振り返りの記録から、生徒一人一人がキャリアを見据えた成長を実感しているか。 ・職場体験学習など、学んだことを発表する場面では基礎的・汎用的な能力に触れる学びができているか。 ・学んだことを生かす機会や場が、校外にあることを実感できているか。（生涯学習の視点） ・地域に貢献するボランティア活動への参加者が増えているか。 ・総合学習の授業支援など、学校に協力する地域センターが十分に人材確保できており、活用できているか。 ・保護者アンケート等を活用し、生徒や保護者のキャリア教育に関する考え方の変容や実態を把握し、今後に生かしているか。					